

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date
2011年12月26日

Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第5号

目次 Inside This Issue

- 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第5号
- 2 今年もインフルエンザが流行シーズンに入りました
- 3 新たなインフルエンザ感染症例の発生(米国)
- 4 鳥インフルエンザなどの発生情報

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を
平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ
対策にもご活用ください。

Information

今年もインフルエンザが流行シーズンに入りました

厚生労働省は、12月16日、平成23年第49週(12月5日～12月11日)のインフルエンザ定点あたり報告数が流行開始の目安である1.00を上回り、**流行シーズン入りしたと発表しました。**

第49週の定点あたり報告数が1.11(定点数約5,000ヶ所、報告数5,447人)となりました。流行開始の目安としている1.00を上回り、今年も流行シーズンに入ったと考えられます。

■ 平年並みの流行シーズン入り

第49週での流行シーズン入りは、平年並みの時期、流行入りです。

■ すべての年齢の方に注意が必要

平成21年に流行がみられた新型インフルエンザについては、今シーズンからは季節性インフルエンザとして対策を行うことになりました。

季節性インフルエンザには、A/H1N1亜型(平成21年に流行した新型インフルエンザと同じもの)、A/H3N2亜型(いわゆる香港型)、B型の3つの型があり、いずれも流行の可能性があります。

流行しやすい年齢層は亜型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

【厚生労働省 インフルエンザの発生状況 12月16日】

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/houdou20111216-01.pdf>

青森県のインフルエンザの発生状況

青森県感染症発生動向調査によると、第49週の定点あたり報告数が0.2(定点数65ヶ所、報告数10)、第50週(12月12日～12月18日)の定点あたり報告数が0.5(定点数65ヶ所、報告数30)となっています。

【青森県感染症情報センター 青森県感染症発生情報 12月22日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyokankyosenta/files/w1150.pdf>

速報**新たなインフルエンザの感染症例の発生（米国）**

米国でのブタ由来インフルエンザの感染症例報告数の状況

○H3N2 感染例(2011年9月以降)

発生州	数
インディアナ州	2
ペンシルバニア州	3
メイン州	2
アイオワ州	3
ウエストバージニア州	2
合計	12

○H1N2 感染例(2007年以降)

発生州	数
ミシガン州	1
ミネソタ州	1
合計	2

○H1N1 感染例(2011年12月)

発生州	数
ウィスコンシン州	1
合計	1

※黄色マーカー部は、ヒト-ヒト感染

WHO は、12月19日、各国に対して、「現在ヒトで季節的な循環をしていないインフルエンザウイルスへの感染症例はすべて、WHO に報告」するよう勧告を發しました。

【WHO 変異型インフルエンザウイルスの世界的な監視の重要性 12月19日】
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/avian_influenza/h5n1-2011_12_19/en/index.html

米国疾病管理センター（CDC）は、12月23日、ウエストバージニア州で1例、ウィスコンシン州で1例のブタ由来インフルエンザ感染症例を確認したと発表しました。その概要は、次のとおりです。

1. ウェストバージニア州の患者

- 患者は子供（5歳未満）で、11月29日に発症（発熱、咳、下痢、鼻水）したものの、受診しないまま回復しています。その後の調査で、ヒトで流行したインフルエンザ（H1N1）2009の遺伝子を持つブタ由来インフルエンザ A/H3N2 感染が確認されました。
- このウイルス感染の患者は同州2例目であり、発症前に旅行歴やブタとの接触歴はない一方で、CDCが12月9日に報告した1例目の患者と保育所での接触があり、その調査の過程で同じウイルスへの感染が確認されたものです。ただし、2人の発症日が10日以上も離れており、1例目の患者のウイルスが2例目の患者に伝播したのではないとしていますが、発生状況から保育所内での限定的なヒト-ヒト感染が起こったものとしています。
- これら2人の患者との接触者や保育所での更なる患者の発生は報告されていません。
- ウエストバージニア州及び隣接のメリーランド州では、インフルエンザ様症状に関するサーベイランスを強化しています。

2. ウィスコンシン州の患者

- 患者は成人で、ヒトで流行したインフルエンザ（H1N1）2009の遺伝子を持つブタ由来インフルエンザ A/H1N1 感染が確認されましたが、現在では回復しています。
- また、患者は発症前にブタと職業的な接触があり、ヒト-ヒト感染は確認されていません。
- このウイルスは1990年代以降米国のブタで循環してきた3重再集合A/H1N1ウイルスとインフルエンザ（H1N1）2009が変異したもので、ヒトに感染した事例は今回が初めてとしています。
- このウイルスは、抗インフルエンザ薬（オセルタミビル及びザナミビル）に感受性を有しています。

3. 新たなインフルエンザウイルスの名称

CDCは、これまで報告されたインフルエンザ（H1N1）2009の遺伝子を有するブタ由来インフルエンザウイルスについては、季節性インフルエンザとの区別や命名方法の慣習に基づき、「変異型 H3N2 ウイルス（H3N2variant）」、「変異型 H1N1 ウイルス（H1N1variant）」と呼ぶことにしています。

【CDC インフルエンザ A/H3N2 変異型の感染及びガイドライン 12月23日】
http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm60e1223a1.htm?s_cid=mm60e1223a1_w

【CDC 異なる A 型インフルエンザ変異型ウイルスの確認 12月23日】
http://www.cdc.gov/media/haveyouheard/stories/Influenza_A_Variant.html

【WHO ヒトに感染する A/H3N2 変異型ウイルスの名称の標準化 12月23日】
http://www.who.int/influenza/gisrs_laboratory/terminology_ah3n2v/en/index.html

News

鳥インフルエンザなどの発生情報

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2011 年 12 月 21 日)

確定症例	574 人
うち死亡例	337 人
致死率	58.7%

鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

1. エジプト保健省は、12 月 21 日、鳥インフルエンザ (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- 患者はダカリーヤ県の 29 歳の男性で、12 月 8 日に発症、同月 15 日に入院、同月 19 日に死亡しています。また、入院時に抗インフルエンザ薬 (オセルタミビル) による治療を受けています。
- 報道によると、患者は 12 月 3 日に鳥インフルエンザ (H5N1) で死亡した女性の兄とされていますが、調査では患者の発症前に近所の鶏との暴露がありました。
- エジプトでは、156 例の確定患者が発生し、うち 54 例が死亡 (2011 年では、37 例の確定患者が発生し、うち 14 例が死亡)。これは、インドネシアに次いで世界第 2 位の発生状況となっています。

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況】

http://www.who.int/csr/don/2011_12_21/en/index.html

○鳥インフルエンザ A (H5N1) が再出現した 2003 年以降、2011 年 12 月 21 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ A (H5N1) 確定症例の累計数は 574 人となっています。そのうち 337 人が死亡しています。(致死率は、58.7%)

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染確定症例数】

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20111221CumulativeNumberH5N1cases.pdf

インフルエンザの発生情報・研究報告など

○マウスに致死的な鳥インフルエンザ (H4N8) ウイルスの発見

チドリ類から鳥インフルエンザ (H4N8) 再集合株の確認が報告されました。これは、北海道東部におけるサーベイランスで収集されたもので、9 匹のマウスに対してこの株を鼻腔接種したところ、致死的な症状を呈したとしています。

【Virology チドリ類から分離された鳥インフルエンザ (H4N8) 12 月 20 日】

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0042682211005484>

「編集後記」は、お休みします。

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

青森県庁「インフルエンザ対策」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter